

(1)



創刊号
 (発行) 大分県立大分上野丘高等学校PTA
 (編集) PTA広報部
 (印刷) 関高山活版社

創刊にあたって



PTA会長
秦野 恭 義

この度予てより金額の上野丘高校PTA広報が正式に発行の運びとなりました。今迄本校には定期的な広報紙は発行されていなく、本年度は是非共発行をしようと関係者一同鋭意努力をして参りました。今回創刊号が発刊されるに際

しまして広報委員の皆様始め関係者の方々に甚々ならぬ御苦勞をお掛けしました。衷心より厚く御礼を申し上げます。広報紙の持つ意義につきましては、今更申し上げる事も御座居ませんが、要約しますと、
 一、PTAの諸活動について具体的に知って頂く事。
 二、教育現場である学校の活動についての認識を深めて頂く事。
 三、生徒達の学校における毎日の実態を知って頂く事。
 以上の三に尽きるのではないかと思います。保護者の皆様方がこれから発行される広報紙を読む事によって、更にPTA活動に御理解を深めて頂ければ幸いです。尚、本年度は予算の都合上一回しか発行出来ませんでした。次年度からは年二回程度は発行したいと考えております。広報委員を始め、関係者一同大奮闘を続けておりますので、ご少し御意見、御要望をお寄せ頂く様お願い申し上げます。

負うた子に 教えられ

教頭 武田 俊

「ありがとうございまして」と女生徒が言葉をかけながら次々バスを降りて行きます。上野丘大洲行きの本社前停留所前の風景である。十年ぶり上野丘高校に舞い戻ったの学年始め、一番明るい印象はこのことだった。マイカーを持たない小生、十年前も現在もひたすらバスのお世話になるのだが、一言聞いたらこんなではなかった。生徒達は黙々と乗り、黙々と降りた。明るく言葉をかけて降りていく生徒達の姿に私は恥じた。バスをもらって利用する前には、かつてその言葉を吐いたことがあるのか、礼を口にする面影をさかしまにいついふ裏面をさめ込んでいたのではなかったか。以来「ありがとうございまして」の言葉を忘れたことはない。運転手さんそれに応えてくれる、お陰で爽やかな気分味わえる日々が続く。

1995 上野の森クリーンアップ大作戦

クリーンアップ大作戦

6月19日「上野の森クリーンアップ大作戦」を展開。一昨年から毎年この時期に実施している学校周辺の清掃奉仕活動は、自然保護と環境美化の意識を高め、奉仕の心を養うのが目的。1、2年生845人がグラウンドに集合。上野丘墓地公園や上野西山公園の住宅地などクレンジで空き缶、紙くず等のごみを拾った。

上野の森 クリーンアップ大作戦

本校は、一八九四年上野丘の現在地に移転開校して、昨年百年目に当たることから「上野の森一世紀」記念事業を企画しました。その一環として十月五日に「上野の森クリーンアップ大作戦」を大分市の協賛を得て実施しました。

対象は上野丘高校の周辺および墓地公園、西山公園一帯と第二グラウンドを含めた地域で非常に広く、計画段階で大変苦勞しました。二年生は、家庭からビニールの買い物袋・ゴミ袋二枚を準備、不燃物・可燃物に分けて収集し、一年生は、第二グラウンドの除草作業を実施しま

した。これらの体験を通して、自然保護・環境美化の意識を高め、ボランティア活動への理解と実践を促すとともに、社会の一員として自覚ある生活を期待してあります。尚、この活動に対し、大分1985ロータリークラブから環境保全賞を受け、また「小さな親切」運動本部から、「小さな親切」実行賞を受けました。



